



必ず知っておきたい 地域おこし協力隊制度の運用のポイント

「せっかく自分の町に来てくれた隊員さんだから、良い関係を築きたい」

しかし隊員と行政、隊員と地域の間では制度への理解不足やお互いへの誤解から大きなトラブルが起こっているケースも珍しくありません。

これまでに蓄積されてきた全国の事例を知り、また県内の協力隊運用の状況を共有することで、解決策を一緒に考えトラブルを未然に防いでいきましょう！



日時

令和6年 **7月5日(金)** 13時30分～16時30分

場所

富山県防災危機管理センター **5-B**研修室

※5-A研修室に変更しました

対象者

市町村職員で地域おこし協力隊の

担当者および**その上司の方**+隊員の**配属課**の方

講師

鍋島 悠弥(なべしま ゆうや)氏

一般社団法人 えひめ暮らしネットワーク副代表 / 総務省地域おこし協力隊サポートデスク専門相談員
総務省地域おこし協力隊アドバイザー / 総務省地域力創造アドバイザー
さかりば農園 / お宿さかりば 代表

Program

講義

13:30～14:45

地域おこし協力隊の制度のおさらい、導入から採用までの流れやポイントをわかりやすく解説します。隊員を受け入れるために絶対に知っておくべき事柄を抑えておきましょう。

ワークショップ

14:50～16:10

①各市町村との事例共有

任用形態等の基礎的な情報から隊員へのサポート体制などを共有し、相談し合える関係を作りましょう。

②ケーススタディワークショップ

全国で“あるある”なトラブル事例を基にグループで解決策を話し合い、導き出しましょう！

相談会

16:10～16:30

鍋島氏とのフリートークの時間を設けております。
日々の業務に関するお悩みなどはぜひこの機会に相談してみてください。

Profile

なべしま ゆうや

鍋島 悠弥 氏



1987年大阪府生まれ。近畿大学大学院農学研究科にて農村地域の観光開発の研究に従事。大学院修了後、2012年4月より愛媛県今治市上浦町の地域おこし協力隊として活動を開始。地域での農村体験や地域内外を繋ぐイベント、住民と行政のパイプ役等の活動に取り組む。2020年2月一般社団法人えひめ暮らしネットワークの設立に携わり、副代表に就任。2021年6月には地域おこし協力隊サポートデスク専門相談員に就任し、協力隊制度の推進に貢献される。



別紙「出欠確認表」にてご参加いただく方を取りまとめのうえ、メールにてお申し込みください。

申込締切 6/25(火)

担当課の方だけでなく、配属課の方にもぜひご参加いただきますようお声がけをお願いいたします。

MAP

場所: 富山県防災危機管理センター 5-B 研修室

お車は県庁の駐車場へ

お問い合わせ先

富山県 中山間地域対策課

Tel:076-444-9605 E-mail:achusankan@pref.toyama.lg.jp

